

地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用した事業の達成状況について

1 宮崎県就職氷河期世代活躍応援事業の成果

(1) 地域プラットフォームの運営

県央、県北及び県西の3地域において、就職氷河期世代のうち社会参加に向けた支援を必要とする方への支援に関わる担当者レベルのプラットフォームを令和4年3月10日付けで設置。県央PF会議を令和4年3月17日、県北及び県西PF会議を令和4年3月25日に開催。

当プラットフォームについては、厚生労働省により設置するよう通知されていたひきこもり支援関係の市町村プラットフォームの広域設置の位置づけとしている。

(2) SNSを活用したワンストップ相談体制の整備

支援対象者やその家族等が気軽に様々な相談を寄せられるよう専用のLINEアカウントを令和2年12月に開設し、ひきこもり地域支援センター（県精神保健福祉センター）に配置する専任職員が、相談内容に応じてみやざき若者サポートステーションや自立相談支援機関等適切な支援が受けられる既存の相談窓口を紹介する仕組みを構築した。

〈実績〉

友達登録者数：95名 ※支援機関の関係者も含む。

相談件数：139件（R3.4.1～R4.3.31）

※やりとり1往復で1件・本人からの相談のみカウント

備考：窓口紹介アカウントと合わせて、ひきこもり地域支援センター名を冠した相談用アカウントを作成。窓口紹介アカウントに寄せられた案件でひきこもり関係であると判断された案件の一部については、引き続き相談用アカウントでチャット相談を実施している。

(3) 就職氷河期世代の活躍応援に向けた機運の醸成

ひきこもり8050問題や就職氷河期世代の現状について県民の理解促進を図るセミナーを令和4年2月18日にメディキット県民文化センターで開催。91名の参加実績であった。

宮崎大学教授の境泉洋氏及びタレントのMr. バニー氏の講演、ひきこもり経験者のメッセージ発表やひきこもり地域支援センター所長、宮崎県「楠の会」（ひきこもり家族会）及び(株)グローバルクリーン専務取締役のパネルディスカッションを実施。

(4) マッチング機会の提供

令和3年度から開始した事業。

主に下記を実施。

- ・就職氷河期世代求職者と県内企業の面談会開催（年3回）
- ・受入企業の開拓（セミナー配信含む）と求人・企業情報の発信
- ・本事業に関する支援対象者及び企業の相談対応

〈実績〉

本事業では、就職氷河期世代のほか、コロナ離職者の採用も支援している事に留意。

- ・マッチング会：3回実施、参加企業数32社、参加者数27名
- ・求人開拓数（求人受理数）：21社（実数）、求人件数108件
※マッチング会参加企業と求人掲載企業には重複有り。
- ・求人へのエントリー数：71件（うち就職氷河期世代33件）
- ・求職者個別相談対応数：24件（うち就職氷河期世代21件）
- ・企業個別相談対応数：41件
- ・就職決定者数：13名（うち正規11名）
※R4.4.1以降の内定含む、コロナ離職者含む

(5) K P I の達成状況

指標名	目標値	実績
本事業の実施による就職決定者数(非正規雇用を含む。)	40人	35人(※1)
就職氷河期世代を積極的に受け入れる企業数	30社	36社(※2)

※1 マッチング支援事業の就職決定者数及び関連事業の就職決定者数

※2 マッチング支援事業での求人掲載及びマッチング会参加企業実数

2 のべおか就職氷河期世代支援事業の成果

(1) のべおか就職応援マガジンの作成

就職氷河期世代を積極的に受け入れる企業16社の情報や就職氷河期世代が活躍する姿を取りまとめた電子書籍を作成した。



また、電子書籍への誘導ツールとしてパンフレット及びポスターを作成、配布。あわせて市ホームページでの周知を行っている。

延岡市ホームページ：

<https://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/soshiki/45/2623.html>

(2) K P I の達成状況

指標名	目標値	実績
就職氷河期世代を積極的に受け入れる企業数	10社	16社